

総務財政常任委員会会議録

令和4年5月23日(月曜日)

鹿 角 市 議 会

出席委員等（6名）

委員長	舘 花 一 仁	副委員長	宮 野 和 秀
委員	中 山 一 男	委員	栗 山 尚 記
委員	安 保 誠一郎	委員	戸 田 芳 孝

欠席委員（0名）

事務局出席職員

事務局長	佐羽内 浩 栄	書記	青 山 智 晃
------	---------	----	---------

説明のため出席した者の職氏名

総務部長	金 澤 修	総務部付部長待遇	奈 良 巧 一
総務部検査官 兼 契約検査室長	金田一 延寿	総務部付次長待遇	木 村 正 樹
会計管理者 兼 会計課長	佐藤 千絵子	総務課長	守 田 敏 子
総務課付課長待遇	本 田 浩 之	政策企画課長	金 澤 寛 樹
財政課長	相 川 保	監査委員事務局長	畠 山 修
選挙管理委員会事務局長	相 馬 天	総務課政策監 兼 行政班長	似 鳥 映
総務課政策監 兼 職員班長	黒 沢 書 彦	総務課危機管理監 兼 危機管理室長	佐 藤 智 紀
総務課政策監 兼 デジタル行政推進室長	黒 澤 昌 基	財政課政策監 兼 管財地籍班長	佐 藤 洋 輔
総務課副主幹	石木田真知子	総務課副主幹 兼 秘書班長	畑 澤 正 樹
総務課副主幹	木 村 貴 宏	政策企画課副主幹 兼 政策推進班長	田 村 宏 一
政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長	児 玉 純 哉	政策企画課副主幹 兼 総合戦略室長	成 田 仁 文
財政課副主幹 兼 財政班長	工 藤 伸 哉	会計課副主幹	木 村 陽 子
監査委員事務局副主幹	阿部 美紀子	選挙管理委員会事務局副主幹	古 川 昭 子

午前10時00分 開会

【開 会】

○館花委員長 委員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまより総務財政常任委員会を開会いたします。

【委員長挨拶】

○館花委員長 ここで、委員及び職員の皆様をお願いいたします。会議記録を作成する関係上、発言の際は委員長の許可を得た上で、お手元にありますマイクスイッチをオンにして、赤色のランプが点灯してから発言願います。

また、発言終了後は、マイクスイッチをお切りくださいますようご協力をお願いいたします。

なお、委員長の許可がない発言については、会議記録上、不規則発言として記載されることとなりますので、徹底してくださるようお願いいたします。

【職員紹介】

○館花委員長 次に、本日は今年度に入って初めての委員会となりますが、執行部職員に異動がありますので、異動された方について自己紹介をお願いいたします。

それでは、順次自己紹介をお願いいたします。

○金澤総務部長 総務部長を拝命しました金澤 修と申します。よろしくお願いいたします。

○守田総務課長 総務課長を拝命いたしました守田敏子です。よろしくお願いいたします。

○佐藤総務課危機管理監 兼 危機管理室長 危機管理監兼危機管理室長の佐藤智紀です。よろしくお願いいたします。

○黒沢総務課政策監 兼 職員班長 総務課政策監兼職員班長の黒沢書彦です。よろしくお願いいたします。

○金澤政策企画課長 政策企画課長の金澤寛樹です。よろしくお願いいたします。

○相川財政課長 財政課長を拝命しました相川 保です。よろしくお願いいたします。

○金田一総務部検査官 兼 契約検査室長 検査官兼契約検査室長の金田一です。よろしくお願いいたします。

○佐藤財政課政策監 兼 管財地籍班長 財政課政策監兼管財地籍班長の佐藤洋輔です。よろしくお願いいたします。

○児玉政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長 政策企画課副主幹兼鹿角ライフ促進班長の児玉純哉です。よろしくお願いいたします。

○本田総務課付課長待遇 総務課付課長待遇、消防本部警防予防課長の本田浩之です。どうぞよろし

くお願いいたします。

○畑澤総務課副主幹 兼 秘書班長 総務課副主幹兼秘書班長の畑澤正樹です。よろしくお願いいたします。

○木村総務課副主幹 総務課副主幹の木村貴宏です。よろしくお願いいたします。

○館花委員長 以上で、職員紹介を終わります。

【所管事項の報告について】

○館花委員長 それでは、会議次第に従い進めてまいります。

初めに、所管事項の報告を受けます。順次報告を受けた後、項目ごとに区切って質疑を受けてまいります。

それでは、順次報告願います。金澤部長。

○金澤総務部長 報告に入る前に本日の職員の出席状況についてご報告したいと思います。

総務課の川上副主幹が事情により本日欠席しております。

それでは、所管事項の報告を申し上げます。

資料の2ページをお願いしたいと思います。

総務部所管の報告事項は、全部で6項目ございますが、私からは、報告事項の1から4について報告させていただき、その後の5と6については、担当がご説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

初めに、1の令和4年度職員採用試験（第1期）についてであります。今年度の職員採用試験は、第1期目として、6月1日から一般事務職（上級）と建築技師及び土木技師を募集します。

1次試験は、一般事務職の上級につきましては、一昨年度から導入している全国のテストセンターで受験する方式により、受験生の移動等の費用負担や新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減し、受験生の確保に努めてまいります。

建築技師と土木技師につきましては、全国的にも人材確保が困難なことから、対象年齢を昨年と同様に40歳にまで引き上げるとともに、建築技師では、二級建築士以上の資格を有する方、また土木技師では、二級土木施工管理技士以上の資格を有する方について、1次試験を書類審査とすることにより多くの方から受験いただきたいと思いますと考えております。

合格発表は8月4日を予定しており、その後2次試験を8月下旬、最終合格発表は9月上旬を予定しております。

このほかの一般事務職（初級）については、例年どおり1次試験を9月中旬に実施する予定としております。

次に、2の市制施行50周年記念事業「新・BS日本のうた」公開収録についてであります。今年度、市制施行50周年を記念し、様々な事業を計画しておりますが、その第一弾として、5月12日にコモッセを会場に、NHK秋田放送局との共催により、「新・BS日本のうた」公開収録を開催いたしました。

8名の豪華な出演者から、素晴らしい名曲の数々をお届けいただき、抽選により観覧整理券が当選された方のうち、383人が来場し観覧いただきました。

なお、収録番組の放送予定は、6月5日（日）午後7時30分から放送されるほか、再放送が2回予定されておりますので、多くの皆様からご覧いただきたいと思っております。

次に、3の官製談合再発防止対策検討委員会（第三者委員会）についてであります。3ページになります。

官製談合防止法違反事件を受け、入札制度を検証し、再発防止対策について調査・検討いただくため、第三者委員会として官製談合再発防止対策委員会を設置し、これまで3回の委員会が開催されております。

第1回と第2回委員会では、事件の概要と経過の報告を受けた後、現在の鹿角市の入札制度の内容や運用実態に至るまで、委員が相互に理解を深めながら、入札手続の中で、牽制機能や監視機能が発揮されているか、また、不正が入り込む余地があるか否かといった視点などから、意見が交わされております。

続く第3回委員会では、第2回までの検討を踏まえ、本市の入札制度の問題や課題について、委員間で問題意識の共有を図った上で課題が抽出され、さらに課題を踏まえ必要な再発防止対策について議論が交わされ、委員会としての意見が整理されております。

現在は、第3回までの検討を基に委員主導で報告書の取りまとめが行われており、6月21日に開催される第4回委員会で最終的な報告書の内容について、審議される予定となっております。

なお、委員会の検討状況については、委員会の開催ごとに委員長が会議終了後に記者会見を行っているほか、市のホームページに会議資料と会議概要を掲載し、会議内容の公表を行っております。

次に、4の水防訓練の実施についてであります。来る5月29日（日）、久保田橋下流の河川敷において、小坂町との共催により開催いたします。

水防訓練は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う中止により、3年ぶりの開催となりますが、消防団員の参加者数を従来よりも縮小するほか、参加団員の体調観察を行うなど、感染対策を取った上で開催することとしております。

これから本格的な出水期を迎えるにあたり、今回の訓練を通じて消防団員の士気高揚と水防技

術の向上を図ってまいります。

私からは以上であります。

○館花委員長 政策企画課長。

○金澤政策企画課長 私から、報告事項の5及び6についてご報告いたします。

4ページをお願いします。

初めに、5の令和3年度ふるさと鹿角応援寄附の実績についてです。

(1)寄附件数及び寄附金額であります。件数は1万6,343件、金額は2億3,297万8,763円と過去最高となりました。令和2年度と比較すると、件数では4.4%の増、寄附額も17.2%の増となっております。

増加した要因といたしましては、楽天ふるさと納税サイトからの申込みが大幅に増加しており、同社が独自に行っているキャンペーンの効果によるものと捉えております。

次に、(2)返礼品の選択状況であります。リンゴが24.5%と最も多く、次いで、アップルパイが17.1%、米が11.4%となっております。前年度と比較し、表の中の3番の米と6番の薪が大幅に増加しております。先行予約や定期便を始めたこと、提供数量を増やしたことが要因となります。また、12番その他が7.2%となっておりますが、この内訳といたしましては、味噌や醤油、石けん、燻製などが大半を占めております。

次のページをお願いいたします。

(3)応援いただいた取組であります。市総合計画の枠組に合わせて6つの取組から選択していただいております。表中の3番「活力を生む地域産業・生業を支える取り組み」に最も多くの応援をいただいております。

次に、(4)応援理由であります。5番の「お礼の品が魅力的だったから」が80%以上を占め、先ほどの返礼品の選択状況のとおり、リンゴをはじめとした本市の農畜産物に魅力を感じ、評価していただいているものと捉えております。また、3番の「以前訪れて印象に残っているから」も7%ほどあり、来訪者の方々から地域のよさを感じてもらっているものと捉えております。

(5)の寄附者の居住地域ですが、全国からご寄附をいただいておりますが、特に東京都をはじめとする関東圏で5割以上を占めております。

(6)寄附金額の割合ですが、1万円までの寄附者が前年度と比較し若干減少し、1万円以上の寄附者が増加傾向にあります。比較的寄附額の高い返礼品を掲載している三越伊勢丹サイトからの寄附が増加してきていることが要因と捉えております。

今年度も協力事業者の開拓と返礼品の確保、新たな返礼品の造成を行うとともに、各ポータルサ

イトで返礼品紹介の充実を図り、本市の特産品等を全国にPRすることでより多くの方々から応援いただけるよう取り組んでまいります。

6ページをお願いいたします。

6の移住実績及び関係人口の創出実績についてであります。6の移住実績といたしましては、取組を開始した平成27年度からの7年間で、世帯数で212世帯、人数にして348人となっております。このうち半数近くの世帯が花輪地区に移住しており、年代別では40代以下の移住者が約8割を占めております。なお、移住者の半数以上が首都圏からの移住となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響で東京開催のフェアや相談会の中止が続き、対面での相談対応が難しい状況にありますので、移住コンシェルジュによる動画配信やNPO法人かづのclassyと連携し、SNSを活用して仕事や子育て、福祉施設などの情報発信やオンラインによる移住相談を実施しており、手厚い支援制度の周知を図りながら、さらなる移住者の呼び込みを積極的に実施しているところです。

次に(2)の関係人口の創出についてであります。市外に住みながらも本市を応援して下さる方々のネットワーク、「鹿角家」を運営しております。令和3年度までの会員数は237人となり、メールマガジンやSNSで情報発信しているほか、会員からお手伝いしてほしいこと、いわゆる「関わりしろ」について、委託先であるかづのclassyが地域を回って掘り起しをし、SNS等で会員へ協力を呼びかけマッチングを図るなど、継続して鹿角への愛着を深めていただいております。

また、一番下の行になりますが、進学や就職などで都市圏へ転出した若者に対し、本市の情報や特産品を届け、将来的なUターン、地元への愛着とつながりの維持を目的とし、昨年度開始した、「若者世代ふるさとネットワーク構築事業 鹿角家U25」では、令和3年度末までに99人が会員登録していただいておりますので、引き続き会員の拡充を図るため積極的にPRを行ってまいります。

以上で説明を終わります。

○**館花委員長** 所管事項の報告が終わりましたので、これより質疑を受けます。

初めに、報告事項1の令和4年度職員採用試験（第1期）について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**館花委員長** ないようですので、次に、報告事項2の市制施行50年記念事業「新・BS日本のうた」公開収録について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。戸田委員。

○戸田委員 参考までにお聞きしたいのですが、抽選で 383 人ですか。応募者数の総数と、あと倍率はどれくらいあったのか。それについて分かりましたらちょっと教えてください。

○館花委員長 石木田副主幹。

○石木田総務課副主幹 申込み総数ですが、3,423 件で倍率は 16.6 倍となっております。（「ありがとうございます、結構です」の声あり）

○館花委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○館花委員長 ないようですので、次に、報告事項 3 の官製談合再発防止対策検討委員会（第三者委員会）について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。戸田委員。

○戸田委員 既に 3 回委員会を行われまして、あとは 4 回目が 6 月 21 日ということなのですが、その後の流れをちょっとお聞きしたいんですけれども、いずれ最終報告書が提出されて、その後どういう形で改善策が策定されるのか。検討委員会を立ち上げるのか、あとはメンバー、どういうメンバーでやられるのか。最終の公表はいつ頃なのか。その辺をちょっとお聞かせいただいてよろしいですか。

○館花委員長 似鳥政策監。

○似鳥総務課政策監 兼 行政班長 今、第 4 回目までは予定されております。6 月 21 日（火）に委員会の最終報告書が審議される予定となっております。この 4 回目の中で決定された報告書については、市長に報告されるものと捉えております。それを受けまして、報告書の内容を精査しまして必要な対策については速やかに講じていくということで予定しております。

委員から、市のほうの検討委員会というお話だったと思いますが、特に市で検討委員会というようなものを設置することなく、それぞれの担当において必要な対策については講じていきたいと思っております。また、今までの議論の中で、委員のほうから、最終報告を待たずに行える対策は早急に講じていくようにという意見もありましたので、この 4 月から入札制度については、必要な改正を行いながら対策を講じているという状況になっております。

○館花委員長 戸田委員。

○戸田委員 第三者委員会のこのメンバーは、4 回目でもう終わりなんですか。その後の検討委員会を立ち上げないというお話なんですか、何かしら関わる部分もあるんですか、このメンバーの方々ってというのは。その辺をお聞かせください。

○館花委員長 似鳥政策監。

○似鳥総務課政策監 兼 行政班長 第三者委員会としての検討委員会につきましては、委員長の意

向でも第4回で最終の委員会ということで、予定はされていると認識しております。その後ですが、これも委員会の報告書の内容にもよるのですが、入札に関わる監視機能的な組織に関して、この検討委員会が直接関与するのか、あるいは委員の中から選任して関わる必要があるのかということは、検討事項になろうかと思っております。（「分かりました、ありがとうございます」の声あり）

○**館花委員長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**館花委員長** ないようですので、次に、報告事項4の水防訓練の実施について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**館花委員長** ないようですので、次に、報告事項5の令和3年度「ふるさと鹿角応援寄附の実績について」、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。中山委員。

○**中山委員** ふるさと鹿角応援寄附ですが、ほかの市町村を見れば、せっかくこういう寄附をしてくださった方に対して、今後どういうふうにつながりを持っていくのか。いろんなアンケートなり、来てもらう特権なり、いろんなことを検討するという話をしていますけれども、うちのほうでは寄附をもらって後はそれでもう終わりということでしょうか。あと、そういう寄附をしてくださった人方に対して、今後何らかの形で連絡を取りながら鹿角に来てもらうことを考えると、何かそういうのを考えているのでしょうか。そこをちょっと教えていただきたいです。

○**館花委員長** 田村副主幹。

○**田村政策企画課副主幹 兼 政策推進班長** 中山委員のご質問についてでありますけれども、現時点では寄附をいただいた際にお礼状と寄附証明書、またそちらに市のPRのパンフレット等を同封してお送りしております。ただ、その後のご連絡については、昨年であっても1万6,000件、かなりの件数がございます。ポータルサイト「ふるさとチョイス」を使ってご寄附いただいた方には、毎年、寄附者への大感謝祭をサイトのほうで行っておりまして、そちらの際にはご寄附いただいた方にメールでこういうイベントがございます、鹿角市も参加します、というようなご連絡はいたしております。それ以外については、現時点ではやれていない状況にあります。

○**館花委員長** 中山委員。

○**中山委員** せっかく鹿角を知ってもらった人方ですので、やっぱりこちらに来てもらう何か工夫をして、定住なり移住なりいろんなものにつなげていく創意工夫がちょっと必要でないかなと思っておりますので、考えていただければというふうに思います。

○**館花委員長** ほかにございませんか。栗山委員。

○**栗山委員** 同じく、ふるさと鹿角応援寄附の件ですが、件数・金額ともに伸びていて非常に結構なことだと思いますが、やはり全国的に見ますと飛躍的に伸びているところも、よく取り上げられているわけで、きっかけがやっぱりマスコミ等々に取り上げられることであったり、バラエティーに取り上げられるのがよく見られるんですが、昨年度 1 年間でそういったものに取り上げられた件数とか例とか、もしございましたらお願いします。

○**館花委員長** 田村副主幹。

○**田村政策企画課副主幹 兼 政策推進班長** まず、県内の新聞等においては取り上げられておりますが、テレビ等の露出は昨年がございました。確かにマスコミ等でPRしていただければ鹿角市はさらに寄附額も伸びると思いますけれども、現時点で人気の返礼品のリンゴまた米については、昨年リンゴは不作だった影響もありまして数量を確保できませんでした。米についても参加事業所のほうは増えてはきておりますが、近隣の大館市、北秋田市ほどの在庫はご用意できませんでしたので、今年度は参加される事業所を増やしたりして、数量の確保に力を入れていきたいと考えております。

以上です。

○**館花委員長** 栗山委員。

○**栗山委員** 物の確保ができなかったという嬉しい悲鳴であると思いますが、マスコミ等々に取り上げられるような工夫とか売込みとか、今後していただければと思います。やはり圧倒的なインパクトがあるし、もし取り上げられないとすればどこかに弱点があるわけで、そこも探っていただければと思いますのでよろしくお願いします。

○**館花委員長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**館花委員長** ないようですので、次に、報告事項 6 の移住実績及び関係人口の創出実績について、質疑・ご意見等がございましたら発言願います。栗山委員。

○**栗山委員** 毎回聞くんですけども移住者の人数、これ地元に関わりのない方の割合ってどのくらいだったんでしょうか。

○**館花委員長** 児玉副主幹。

○**児玉政策企画課副主幹 兼 鹿角ライフ促進班長** 市外と市内の方のUターンという形では区別はしておりませんが、いずれにしてもコロナが落ち着いてきたということで、今のゴールデンウィークが非常にピークを迎えておりました。ここには資料を付けておりませんでした、ここ二月ほど

で 20 人ほどから相談なり、今後予定だということで窓口のほうに相談はきておりますので、やはり感染症の緩和ということである程度動きが見えてきているのかなと思っております。実際我々も、今まで移住フェアというのを東京近辺で 3 年ほど前まで開催しておりましたが、今月になりますけれどもそれを再開できるということで、ある程度動きを見せていきますので今後伸びは見えってくるかと思っております。

以上です。

○館花委員長 栗山委員。

○栗山委員 これも毎回お話しているんですが、348 人の中には、そもそもこういった市側の働きかけがなくても帰って来るはずだった人も必ず入っております。そこをやはり意識の中に常に入れておいていただいて、発表するときにこれだけいたと、実は働きかけがなくても来る人数を引けば実態はこれくらいなんだというような感覚を持っていただければと思いますのでよろしくお願い致します。

○館花委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○館花委員長 ないようですので、所管事項の報告についてはこれで終わります。

【案 件】 付託事件の審査について

○館花委員長 次に案件に入り、(1)付託事件の審査を行います。

当委員会に、閉会中の審査事件として付託されております、市総合計画の推進についてであります。委員の皆様から質疑、ご意見等がございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○館花委員長 それでは、市総合計画の推進については、今後においても継続審査すべきこととし、本日の閉会中の審査事件の審査はこれで終了したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○館花委員長 ご異議ないものと認め、そのように決定いたします。

次に、(2)その他に入ります。

初めに、当局より説明願います。総務課長。

○守田総務課長 それでは、総務部関連の 6 月定例会の提出予定議案について、資料 1 の議案目録案を基に説明をいたします。

資料の 7 ページをご覧ください。

初めに、繰越明許費繰越計算書については、令和 3 年度で繰越明許費を設定した国の補正予算対

応によるものを含む計 18 事業、6 億 9,212 万 7,000 円を今年度に繰り越して使用することについて報告するものでございます。

続いて、事故繰越計算書については、道路橋りょう総務事務費について、年度内に完了ができなかった用地測量業務委託料 17 万 6,000 円を今年度に繰り越して使用することについて報告するものでございます。

補正予算関係については、財政課長が説明をいたします。

以上で説明を終わります。

○**館花委員長** 財政課長。

○**相川財政課長** それでは、資料 2 をご覧いただきたいと思います。

6 月補正予算案の概要について説明いたします。本日現在で取りまとめておりますので、本会議提案時までには若干の変更があるということをお含みおきいただきたいと思います。

1 の一般会計補正予算（第 3 号）についてであります。補正額は 6,864 万 3,000 円の追加で、補正後の予算規模は 175 億 6,942 万 1,000 円となります。

第 3 号補正は、早期に予算措置が必要であることから、初日議決をお願いするものであります。

初めに、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 2,627 万円は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中で、物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対して、18 歳以下の児童等を対象に 1 人当たり 5 万円を支給するもので、財源は 10 分の 10 の国庫補助金となっております。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 465 万円と、その下の新型コロナウイルスワクチン接種事業 3,772 万 3,000 円は、3 回目のワクチン接種から 5 か月を経過する方で、60 歳以上の方や基礎疾患がある方、重症化リスクが高いと医師が認める方を対象に 4 回目接種を実施するため、これに必要な経費を追加するものです。

以上で補正第 3 号の説明を終わります。

次に、2 の一般会計補正予算（第 4 号）であります。補正額は 3 億 1,167 万 7,000 円で、当初予算編成後の状況変化に対応した事業費の追加となります。補正後の予算規模は 178 億 8,109 万 8,000 円です。

それでは、主な内容について説明いたします。

庁舎等照明設備改修事業 3,440 万 8,000 円は、今年度の本庁舎照明の LED 化と合わせ、令和 5 年度に予定していた車庫棟などの照明 LED 化を前倒して実施するため改修工事費を追加いたします。

定住促進事業 350 万円は、移住者がデータバンク等の空き家物件を購入・賃貸し、修繕などを実施した場合のふるさとライフ住宅改修支援補助金について、今後の対応予算に不足が見込まれるため補助金を追加いたします。

自治会振興事業 810 万円は、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ推進事業費補助金について、4 団体の交付決定を受けたことから、自治会活動用備品の整備に対する補助金を追加いたします。

市税還付金 750 万円は、確定申告（上場株式等に係る配当所得・譲渡所得に関する還付等）に伴う市税還付金。こちらが、今後の対応予算に不足が見込まれるため還付金を追加いたします。

認定こども園費 620 万円は、市外の幼保連携型認定こども園への広域入所に対応するため、当該児童に係る給付金を追加いたします。

米品質向上支援事業 1,738 万 3,000 円は、米の品質向上・流動体制の強化を図るため、色彩選別機等の導入を支援する補助金を追加いたします。

企業立地促進事業 1,638 万円は、事業の高度化に取り組む 3 事業所に対する助成金を追加いたします。

十和田八幡平まなび旅創生事業 400 万円は、本市を訪れる修学旅行の需要が県内校を中心に伸びている状況にあり、当初の計上額を上回る見込みであることから補助金を追加いたします。

国立公園八幡平魅力アップ事業 137 万 5,000 円は、魅力アップ構想に基づく誘客拡大の実現に向けた、八幡平スキー場エリア内へのアドベンチャー施設整備を支援するため補助金を計上します。

道路橋りょう維持管理費 4,000 万円は、舗装補修等が必要な市道について補修工事費を追加いたします。

除雪対策事業 1,386 万円は、市道谷地田町小沢田線の融雪設備について、腐食した融雪配管を更新するため改修工事を実施いたします。

次のページをお願いいたします。

公営住宅建設事業 3,200 万円は、コロナ禍やロシアに対する経済制裁等、複合的な影響による建築資材価格の高騰を受け、毛馬内住宅建て替えに係る予算に不足が見込まれることから当該工事費の不足分を追加いたします。

消防施設整備事業 1,975 万 6,000 円は、消防水利の充足のため市内 2 か所に耐震性防火水槽を新設いたします。

出土文化財管理センター管理費 995 万 5,000 円は、屋根防水シートの劣化により雨漏り等が発

生していることから改修工事等を実施いたします。

はばたけアスリート鹿角コーチング事業 165 万円は、市制施行 50 周年記念事業として、北京五輪メダリストらをゲストとして迎え、交流事業を開催いたします。

体育施設整備事業 4,615 万 6,000 円は、記念スポーツセンターの照明設備の LED 化に係る工事費などで、本庁舎照明の LED 化と合わせて実施いたします。

最後に、人事異動などに伴う人件費の調整であります。定期人事異動に伴う給与・手当等の増減調整により 1,679 万円を増額いたします。

補正第 4 号の説明は以上であります。

なお、資料に記載はございませんが、定例会会期中において、別途補正予算の追加提案を予定しております。

内容といたしましては、蒸ノ湯温泉に通じる市道八幡平線道路の復旧工事費の計上ですが、金額につきましては、現在精査中ということでよろしく願いいたします。

以上で説明を終わります。

○**館花委員長** 説明が終わりましたが、この後定例会中の委員会もございますので、説明のみとさせていただきます。どうしても今回確認したい点などがございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**館花委員長** そのほか、当局及び委員の皆様から何かございましたら発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**館花委員長** ないようですので、その他についてはこれで終わります。

【閉 会】

○**館花委員長** 以上をもちまして、本日で予定いたしました事項の協議は全て終了いたしました。

当局におかれましては、ただいま出されました要望・意見等について十分検討され、それぞれ措置願いたいと思います。

それでは、ただいまの時刻をもって総務財政常任委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでございました。

午前 10 時 40 分 閉会